

令和 6 年度(2024 年度)熊本県内農業法人 経営・景気動向調査

熊本県では、県内農業法人の経営や景気動向の把握を目的として、調査を実施。経営に影響する外的要因、生産コスト等を定期的に調査・分析し、農業経営環境を把握する基礎資料とする。

調査概要

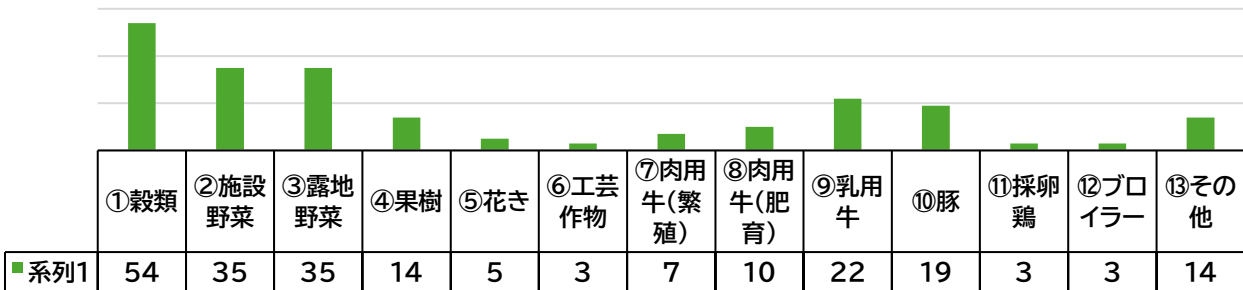
調査期間 令和 6 年 6 月 17 日～7 月 12 日
調査対象 県内農業法人(県実施の農業法人設立状況調査で把握している農業法人(1125 社)のうち第 1 回調査 565 社)
有効回答数 224 社 (社名なし 1 社)

菊池	八代	熊本	玉名	阿蘇	上益城	天草	球磨	鹿本	宇城	芦北	県外	空欄	合計
53	27	26	22	21	19	16	12	11	10	5	1	1	224

回 答 率 39.64%

アンケート調査集計

- 設問 1 主な経営部門(売上が最も多い部門)はどれに該当しますか



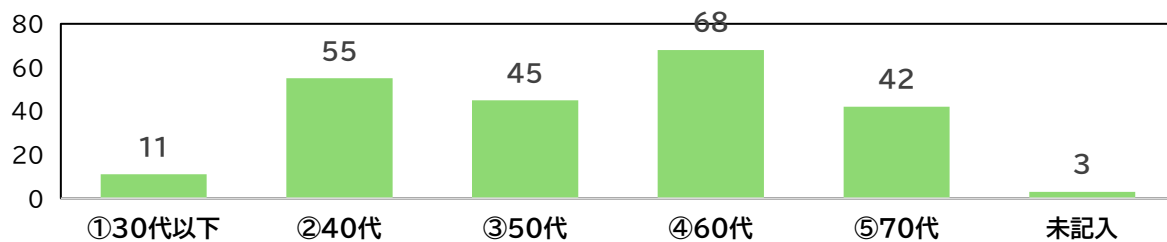
- 設問 2 貴法人の今期(4 月～6 月)農業経営状況と次期(7 月～9 月)の見通しはどうか
(1)今期の農業経営状況



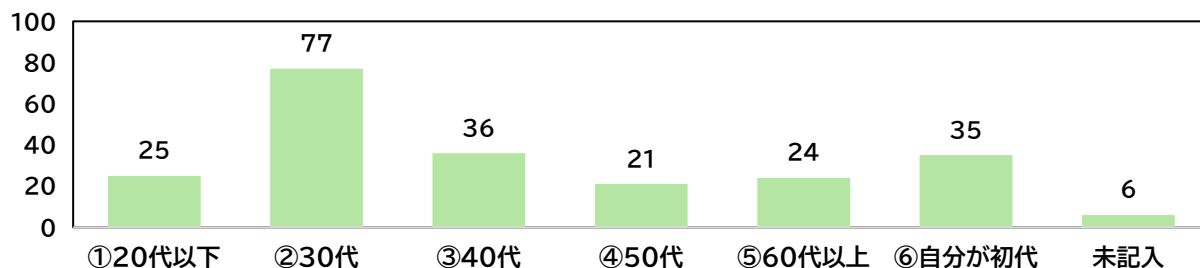
(2)次期(7 月～9 月)の農業経営状況の見通しについて



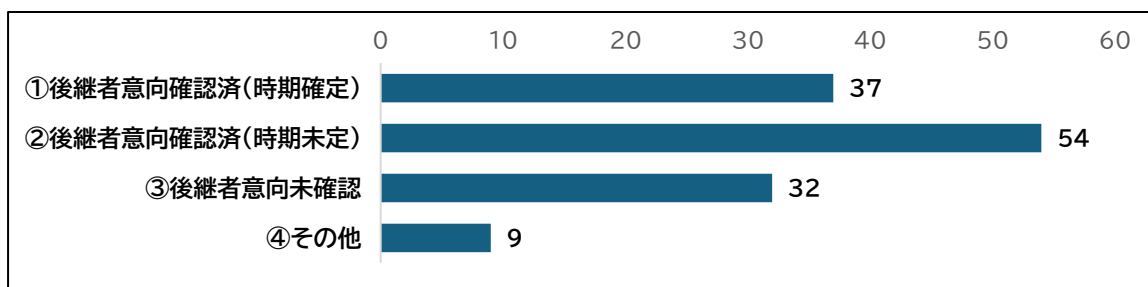
● 設問 3 経営主の方の現在の年齢について



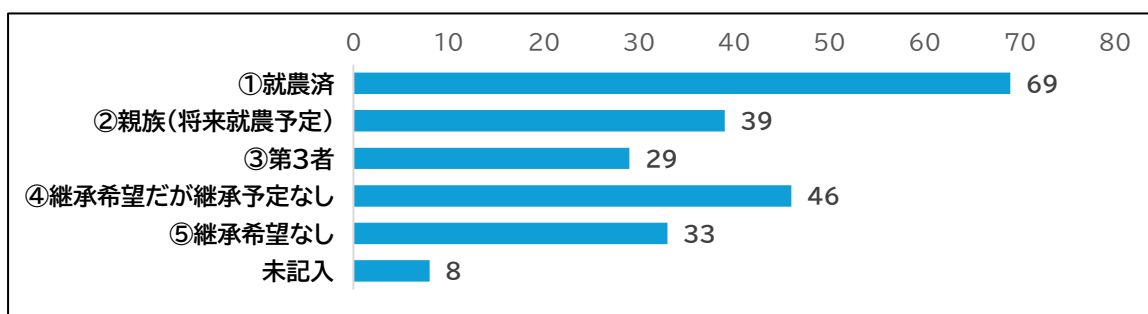
● 設問 3-2 何歳の時に経営を継承しましたか



● 設問 4 経営を継承する後継者候補について

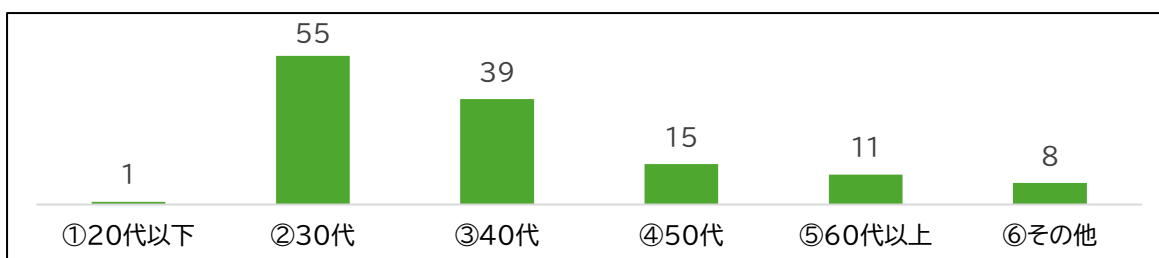


● 設問 4-2 経営者候補について

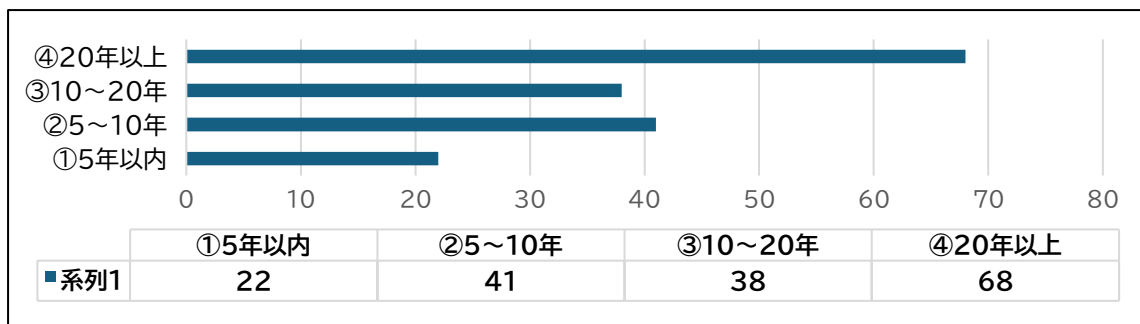


その他 現状未定、継承済み、決めていない、規定に基づく、理事から推薦、総会で選出、不明(親会の判断)、まだ小学生なので、

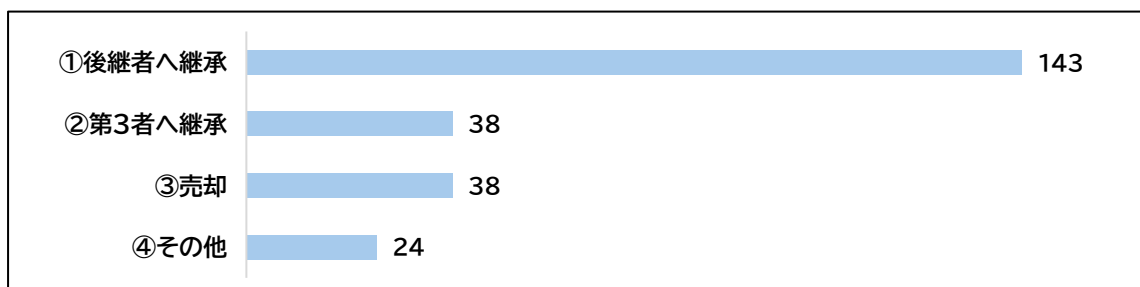
● 設問 4-3 後継者の年齢がいくつの時に経営を継承してもいいか



● 設問 4-4 あと何年営農予定しているか

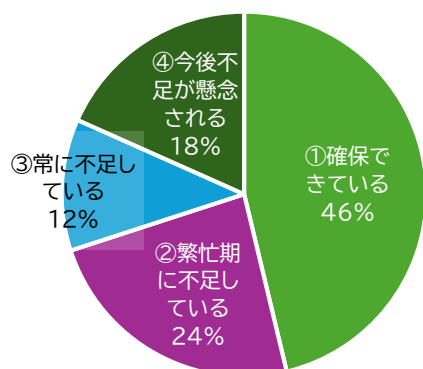


● 設問 5 営農後の資産について(複数選択可)



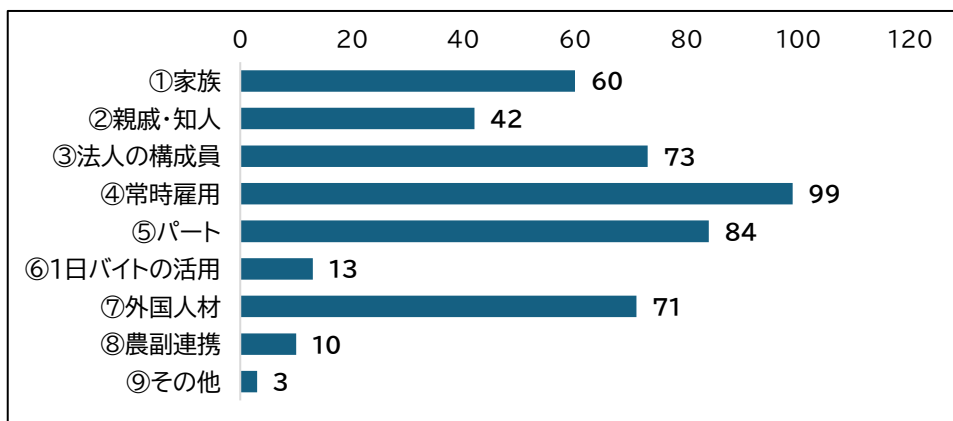
その他 未定、営農を継続するその他農構成員検討中、まだわからない、組合員、地主へ返却、考えていない、会社の規定に基づく、考えていない

● 設問 6 労働力の確保の状況について（複数回答）



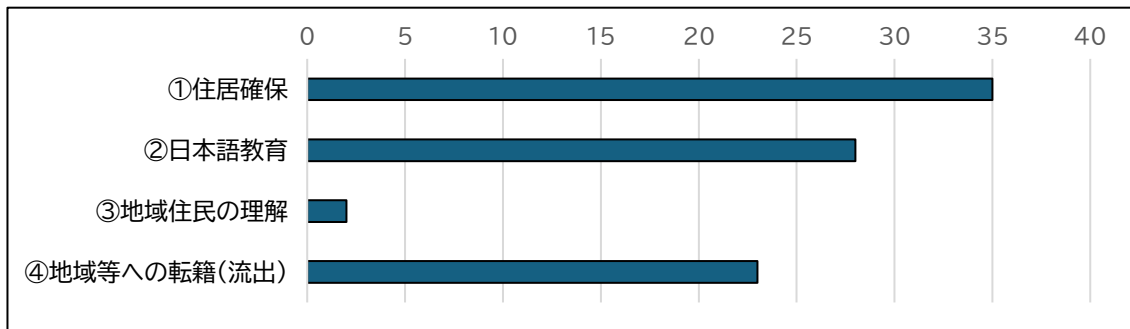
	回答		平均
①確保できている	111	1～200 人	8.8 人
②繁忙期に不足している	57	1～延 50 人	2.6 人
③常に不足している	28	1～5 人	1.8 人
④今後不足が懸念される	44	1～10 人	1.9 人

● 設問 6-2 現在の労働力確保の方法について(複数回答等)



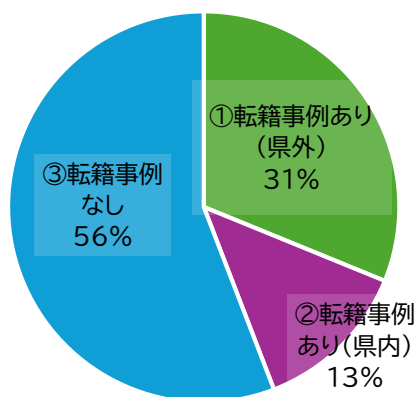
その他 ヘルパー組合・、外注

- 設問 6-3 設問 6-2 で「⑦外国人材」を選択された方、外国人受け入れの課題について

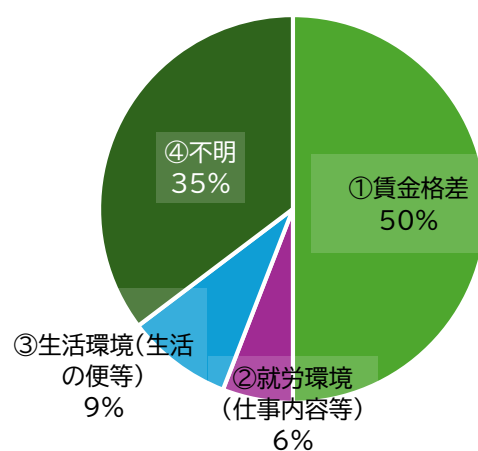


- 設問 6-4 外国人材の転籍状況と転籍理由について

【転籍状況】



【転籍理由】



- 設問 6-5 外国自在定着のために取り組まれていること

- 賃金の定期昇給、ボーナス等、福利厚生充実、技能給、ボーナス
- 住居環境、技術指導、仕事の確保、安定賃金、
- 年度ごとの賃金の見直し、会合やレクリエーションなどの福利厚生
- 日本語の勉強会、イベント開催、技能給、ボーナス
- N 検定合格者に一時金、ボーナスを多く支給する、車の免許取得のお手伝い
- お誕生日のお祝い、プレゼント、より良いコミュニケーション
- 夏季休暇(給与付)、1 ヶ月ベトナムへの交通費付き、寮費を最低額にする
- 特に区別をしないこと。外国人だからとか、希望する残業や休日勤務を受け入れる
- コミュニケーションを取り、心のケアをする、給与高めに設定、日本語教育
- 仕事とプライベートの区別をはっきりする、年 2 回ほど飲み会をしている
- 相談事を聞き入れる、プライベートの確保など個室での部屋
- お祝いをしたり、観光に行ったり、勉強会に参加してもらったりしている
- 家族同様の扱い、単なる労働力としてこきつかわない
- スキルで昇給する、米を出している、買い物送迎、レジャーの実施
- 年間を通して十分な仕事があること。残業代を含めて満足する給与額にすること
-

以上、ご協力ありがとうございました。